

## すずか倶楽部 中西 大輔議員

### 新年度の課題について

**質問** 10年後20年後の人口、高齢化率、税収、義務的経費、普通建設費の予想と、昨年出された総務省ソフトの試算から、公共施設維持の課題をどう考えるか。その中で施設新設はどう整理するのか。

**答弁** 総人口は減少、高齢化率は24%、税収予想は困難、義務的経費は中期的に横ばい、普通建設費は年55億円と予想。総務省ソフトの試算では、全ての公共施設等を現在の規模で維持・更新する

と今後1年あたり47億円が必要と推計。インフラ整備などを加味すると、全てを維持することは厳しくなると推測。今回の試算は、新規建設のものは含まれていない。新設については、市民の便益を最優先に考え、政策的に判断して取り組む。仮に公共施設再編となると市民生活に多大な影響を及ぼすことから、現状分析をして、公共施設マネジメント白書を市民・議会に提示する。

**その他の質問** ○部活動と地域の連携について  
○給食に公募メニューを

## すずか倶楽部 鈴木 純議員

### 学力向上について

**質問** 昨年の全国学力調査結果では、鈴鹿市の小学生・中学生共に全国最低レベルとのことであるが、今後学力向上にどう取り組んでいくのか。また危機感を持ってもらうため学校別成績順位を校長会で公表し、今後自治体の判断で市民へも公表できるようになった時は公表すべきと思うが、どう考えるか。

**答弁** 学力が低いことについては、真摯に受け止めている。課題解決に向け、校長会や担当者に説明するなど学校現場と進めており、来年度には、教育施策を進める事業予算を計上した。学力テストの公表については、文部科学省から調査の結果の取り扱いについて、序列化や過度な競争につながらないように、特段の配慮が求められており、そういった考え方を尊重していきたいと考えている。

**その他の質問** ○教職員のメンタルヘルスについて

## あくていぶ21 伊藤 健司議員

### 在宅障害者手当の廃止に伴い、今後の在宅障がい者支援に対する考え方と方向性について問う

**質問** なぜ廃止になるのか。受給者数約3,200人、約7,500万円(24年度当初予算)分の予算がなくなることにかわる新たな取り組みについて問う。

**答弁** この手当は本市独自制度として数十年前の制度の隙間を埋める施策として始めたが、時代の変化やニーズに対応できるよう独自制度の見直しを検討した結果、一定の役割を終えたものと

判断し廃止に至った。25年度からは、新たに3つの事業を実施。①在宅重度障害者と地域をつなぐ安心生活支援事業に1,500万円。市内に10ヶ所程度の福祉避難所をもうけ、平時より月1回程度の安否確認システムを構築。②福祉用具HALを用いた機能訓練費の一部補助に2,226万円。③障がい者就労の充実に向けて「就労マルシェ(市場)」開催に318万3,000円。以上の3事業を新たにスタートさせる。

**その他の質問** ○不動産公売について

## あくていぶ21 森 喜代造議員

### 学校の体罰問題について

**質問** 実態調査について、学校ではどのような調査をしたのか。また、今年度における体罰の発生件数と先生の処分、体罰の内容について。今後の対策について体罰の未然防止と、発生後の教育委員会の取り組みについて。体罰防止会議のメンバー構成、開催日、会議の内容について尋ねる。

**答弁** 教員の調査には生徒に体罰を行ったかを、生徒からは体罰を受けたことがあるかを、事案を

もとに聞き取り、内容を精査した。体罰は6件発生しており、文書訓告や嚴重注意をした。内容は注意する際、他校児童の向こう脛を蹴った、児童が暴れた際ふくらはぎを蹴った等。未然防止として、学校長が定期的に教職員に対して啓発し、信頼関係を構築していく。また、校長をはじめ8名の構成員で3回の会議を開催し、継続して学校風土の意識改革を行う。

**その他の質問** ○鳥獣害対策について